

取組分野	令和 5 年度		総括	
	取組目標	自己評価		
重点取組項目	「総合的な探究の時間」の取組の推進	○演劇的な手法をベースとした様々な表現活動を通して、人間関係作りに必要な「人と協働する力」や「合意形成していく力」を育成していく。他者理解・自己理解を進め、学校生活・社会の中で多様な価値観を持つ人々と円滑にコミュニケーションを図り豊かな人間関係を築きながら生きていくために必要なことを探究していく。	B	
	基礎基本の定着と社会人基礎力の育成	○学校設定教科「学び直し」を4年間学ぶことにより、社会人に必要な基礎学力を向上させる。	B	
	社会活動への参加意識を高めるキャリアガイダンスの充実	○様々な教育活動の中で卒業後の進路を考えさせる。「学習指導」「生活指導」「進路指導」が三位一体となりキャリア教育の充実を図る。	B	
人材育成の取組目標	○各種の研修や各自の教科研究を通して、教員の資質・授業力の向上を図ります。 ○教育相談活動の充実を目指し、校内研修を通してカウンセリング能力の向上を図ります。 ○主幹教諭候補、管理職候補の人材育成に取り組みます。	○アンケート結果より、保護者・教員は概ね実現に近づいていると受け止めていることが分かる。生徒についても肯定的な評価の回答が多いものの、約15%は「あまり」そう思わない」と回答しているため、さらなる改善に努めたい。具体例として、進路プログラムの振り返りを行う際、他者理解や自己理解をキーワードに振り返りを行う。生徒が実感しやすいようなプログラム内容を検討するなど考えられる。	A	
中期学校経営方針における10の取組分野	教育目標等の設定・実施	○全教員による生徒の学習、進路、相談活動等の支援体制をつくる。 ○基本的な生活習慣、豊かな心・健康な身体・生きる力を育成する。	○アンケート結果(生徒項目8、保護者項目8)からも教育相談については生徒、保護者ともにほぼ肯定的な回答で高い評価が高い。生徒の変化に対するアンテナを高く、寄り添った対応が担任を中心として学年団としてできている。	A
	組織運営(働き方改革)教職員研修	○校内研修組織の構築により実践的な研修を行う。効率化を図る。 ○IOT推進委員会と連携し、業務の効率化を図る。	○教員アンケートの項目12、19、20について、ほぼ100%に近い肯定的な回答。個々の教員が、生徒が抱える生活面・学習面での課題の解決に向けて、研修や情報交換の機会を作り、議論・共有・研鑽ができています。	A
	教育課程	○新教育課程での学習評価研究により教育内容の見直しを行う。 ○生徒の実態に応じた学び直しや習熟度別指導を充実させる。	○学習評価研究についても、教育課程委員会主催で研修会を行い、全職員で意見共有を行うことができています。そのため、学校評価アンケートにおいても職員から、肯定的な回答が100%となった。引き続き研修等を通して学び続けるようとする。 ○生徒の実態に応じた授業展開や習熟度別指導を実施することができている。	B
	教科指導	○教科・生活指導も含めた授業力向上のための実践研修を行う。 ○基礎・基本の確かな定着や学び直し授業の研究を行う。	○評価定評の研修会を実施し、授業内での評価手法や、授業での協働について教員間で改善にむけて話し合いを行った。 ○学び直しの授業について、どの生徒にも効果的な学び直し授業が行えるように使用プリントの改善や授業の内容についても工夫していきたい。	B
	特別活動	○特別活動を通して、生徒の社会的自立へ向けた支援を行う。 ○部活動加入率を向上させ、部活動を充実させる。	○全生徒が委員会に所属し、行事毎に役割を分担している。部活動も多く生徒が積極的に参加している。生徒数増加に80.4%が肯定的回答をしているのは、そのような取組の成果と考えられる。否定的回答が19.6%ある点は課題だが、より多くの生徒が自身の主体性を感じられるよう、支援・声かけを行い、生徒の活動を支えていきたい。	B
	生徒指導(特別支援)	○生徒への挨拶指導及び定期的な校内の巡回活動等を行う。 ○特別な支援を要する生徒への相談活動を充実させる。	○職員間で情報共有をし、生徒一人ひとりに合わせて、登校時の健康観察での声掛けや細やかな相談活動を行い、生徒との信頼関係のもと生徒の社会的マナーや公共の育成を図ることができた。その結果肯定的な回答が職員から100%、生徒から84.2%となった。引き続き生徒の成長に向けて活動を継続したい。	A
	キャリア教育	○進路行事と体験学習を通してキャリアガイダンスの充実を進める。 ○ハローワークや民間団体との連携による進路指導を充実させる。	○3学年で「実践学習1」の授業が始まり、職業体験を実現できた。卒業生や外部講師によるガイダンスも充実した内容だった。学校運営協議会の協力のもと、生徒の社会体験や相談活動などを実施できた。 ○次年度は「進路の手引き」を進学・就職共通のガイドブックとして実践学習の授業や面談などで活用したい。	A
	保健指導	○生徒の豊かな心、健康な身体への育成のための保健指導を充実させる。 ○生徒による校内の美化の推進および学習環境の整備を行う。	○登校時に健康観察や交流センターの実室者との健康指導から、生徒の状況を把握することができ、生徒に必要な課題をテーマにした健康講話の実施ができています。美化においては、日常の清掃および年3回の地域清掃から環境整備の意識を高めることができている。次年度は、全日制からの切替時の環境整備について検討を続けたい。	B
	学校経営	○公金・庫金の適切な管理と執行を行う。 ○定期的な施設・設備の点検実施と情報管理を徹底する。	○教員アンケート項目22の情報等の管理や研修の実施については90%以上が肯定的な回答をしている。 ○教室をはじめ施設・備品の共有を奨励した管理を実践できている。	B
	保護者・地域等との連携協力	○保護者、地域、警察等との組織的な協力体制を強化する。 ○学校運営協議会や外部支援団体との連携を強化する。	○保護者、地域の方のアンケートとともに生徒の活動や地域連携に対する学校の姿勢について肯定的に評価されている。とりわけ地域の方のアンケート回答では、生徒のマナー向上に対する評価・回答をいただいた。	B
危機管理	○職員研修と外部講師による生徒への研修を実施する。 ○定期的な校内巡回と生徒の登下校指導を行う。	○防災訓練を通して、災害時の避難に対する生徒たちの意識が高まっている。 ○職員向け防犯訓練を実施し、職員の危機管理意識が高まった。	B	
学校に関する情報公開	○学校ホームページの充実。各種説明会等による積極的な学校情報を発信する。 ○保護者への定期的な情報伝達を行う。	○先生方の協力で学校ホームページの内容が充実し、校内・地域からの注目が高まっていることが評価アンケートの情報公開に関する設問の回答からうかがえる。今後本校の活動の様子を積極的に発信していくことで、開かれた学校をアピールしていきたい。	A	
いじめへの対応	○生徒一人ひとりが受け入れられていると実感できる環境をつくる。 ○教育を受ける権利を保障するための支援を確実に実施する。	○生徒が安心して学校生活が送れるよう、全職員で細やかな見守り活動や声掛けを実施した。また必要に応じて早期に面談等を実施することで、安心して学校生活を送れる環境を維持することができた。その結果肯定的な回答が、職員から100%生徒から96.1%となった。生徒の回答も100%肯定的となるよう、全生徒への啓発活動内容を検討するなど、改善に努めたい。	A	
学校関係者評価書提言	地域から学校・生徒の姿が見えづらい。学校が地域貢献の面で弱いという課題に対し、学校運営協議会において以下のような提言・助言がなされた: ・地域へPRするため、町内会のHPに学校の取組を掲載したり、学校と地域とつながることを支援したりする。 ・生徒がボランティア活動を継続できる手立て、ボランティアでの生徒の役割についてさらに会議をする時間を確保する。 ・教員が地域イベント情報を共有する連絡会に出席することで、生徒が地域とかわりをもてるイベントの情報入手することができ、生徒の実態に合わせて、地域のイベントへ参加させることで生徒の成長と地域へのアピールにつながる。	学校関係者評価書提言		
学校関係者評価書提言に対する考え	学校運営協議会からは更なる学校力の向上につながるアドバイスを数多くいただいた。協議会には主任のみならず若手教員も多岐多岐の教職員が参加し、皆々の協議会委員との関係づくり・連携も進んでいる。分科会ではテーマにかかわる分科会からの参加教員を多くすることで、今後の協力体制の強化や協働する中で生じた課題への対応などが進められている。協議会委員の方々は生徒が安心して送る学校づくりに向けた教員の熱い思いを理解し、それぞれの分野での知識・知見を惜しみなく本校支援に活かしていただき、心より感謝いたします。いただいた提言・助言を今後の学校運営に活かせるよう、引き続き学校全体でより良い学校づくりに取り組んでいきたい。	学校関係者評価書提言に対する考え		
中期目標振り返り	達成に向けて、教職員一人一人が目標に向かって真摯に取り組んでいる。在籍している生徒も毎年少しずつ変化し、生徒が抱える課題も多様化しているため、それに合わせて取組目標もマネージングを行いつつ、生徒、保護者から信頼され、教職員も自らの資質を向上させ喜びを感じられる学校づくりを今後も続けていきたい。	中期取組目標振り返り		

取組分野	令和 6 年度		総括
	取組目標	自己評価	
重点取組項目	「総合的な探究の時間」の取組の推進	○演劇的な手法をベースとした様々な表現活動を通して、人間関係作りに必要な「人と協働する力」や「合意形成していく力」を育成していく。他者理解・自己理解を進め、学校生活・社会の中で多様な価値観を持つ人々と円滑にコミュニケーションを図り豊かな人間関係を築きながら生きていくために必要なことを探究していく。	
	基礎基本の定着と社会人基礎力の育成	○学校設定教科「学び直し」を4年間学ぶことにより、社会人に必要な基礎学力を向上させる。	
	社会活動への参加意識を高めるキャリアガイダンスの充実	○様々な教育活動の中で卒業後の進路を考えさせる。「学習指導」「生活指導」「進路指導」が三位一体となりキャリア教育の充実を図る。	
人材育成の取組目標	○各種の研修や各自の教科研究を通して、教員の資質・授業力の向上を図ります。 ○教育相談活動の充実を目指し、校内研修を通してカウンセリング能力の向上を図ります。 ○主幹教諭候補、管理職候補の人材育成に取り組みます。		
中期学校経営方針における10の取組分野	教育目標等の設定・実施	○全教員による生徒の学習、進路、相談活動等の支援体制をつくる。 ○基本的な生活習慣、豊かな心・健康な身体・生きる力を育成する。	
	組織運営(働き方改革)教職員研修	○校内研修組織の構築により実践的な研修を行う。効率化を図る。 ○IOT推進委員会と連携し、業務の効率化を図る。	
	教育課程	○新教育課程での学習評価研究により教育内容の見直しを行う。 ○生徒の実態に応じた学び直しや習熟度別指導を充実させる。	
	教科指導	○教科・生活指導も含めた授業力向上のための実践研修を行う。 ○基礎・基本の確かな定着や学び直し授業の研究を行う。	
	特別活動	○特別活動を通して、生徒の社会的自立へ向けた支援を行う。 ○部活動加入率を向上させ、部活動を充実させる。	
	生徒指導(特別支援)	○生徒への挨拶指導及び定期的な校内の巡回活動等を行う。 ○特別な支援を要する生徒への相談活動を充実させる。	
	キャリア教育	○進路行事と体験学習を通してキャリアガイダンスの充実を進める。 ○ハローワークや民間団体との連携による進路指導を充実させる。	
	保健指導	○生徒の豊かな心、健康な身体への育成のための保健指導を充実させる。 ○生徒による校内の美化の推進および学習環境の整備を行う。	
	学校経営	○公金・庫金の適切な管理と執行を行う。 ○定期的な施設・設備の点検実施と情報管理を徹底する。	
	保護者・地域等との連携協力	○保護者、地域、警察等との組織的な協力体制を強化する。 ○学校運営協議会や外部支援団体との連携を強化する。	
危機管理	○職員研修と外部講師による生徒への研修を実施する。 ○定期的な校内巡回と生徒の登下校指導を行う。		
学校に関する情報公開	○学校ホームページの充実。各種説明会等による積極的な学校情報を発信する。 ○保護者への定期的な情報伝達を行う。		
いじめへの対応	○生徒一人ひとりが受け入れられていると実感できる環境をつくる。 ○教育を受ける権利を保障するための支援を確実に実施する。		
学校関係者評価書提言	地域から学校・生徒の姿が見えづらい。学校が地域貢献の面で弱いという課題に対し、学校運営協議会において以下のような提言・助言がなされた: ・地域へPRするため、町内会のHPに学校の取組を掲載したり、学校と地域とつながることを支援したりする。 ・生徒がボランティア活動を継続できる手立て、ボランティアでの生徒の役割についてさらに会議をする時間を確保する。 ・教員が地域イベント情報を共有する連絡会に出席することで、生徒が地域とかわりをもてるイベントの情報入手することができ、生徒の実態に合わせて、地域のイベントへ参加させることで生徒の成長と地域へのアピールにつながる。	学校関係者評価書提言	
学校関係者評価書提言に対する考え	学校運営協議会からは更なる学校力の向上につながるアドバイスを数多くいただいた。協議会には主任のみならず若手教員も多岐多岐の教職員が参加し、皆々の協議会委員との関係づくり・連携も進んでいる。分科会ではテーマにかかわる分科会からの参加教員を多くすることで、今後の協力体制の強化や協働する中で生じた課題への対応などが進められている。協議会委員の方々は生徒が安心して送る学校づくりに向けた教員の熱い思いを理解し、それぞれの分野での知識・知見を惜しみなく本校支援に活かしていただき、心より感謝いたします。いただいた提言・助言を今後の学校運営に活かせるよう、引き続き学校全体でより良い学校づくりに取り組んでいきたい。	学校関係者評価書提言に対する考え	
中期目標振り返り	達成に向けて、教職員一人一人が目標に向かって真摯に取り組んでいる。在籍している生徒も毎年少しずつ変化し、生徒が抱える課題も多様化しているため、それに合わせて取組目標もマネージングを行いつつ、生徒、保護者から信頼され、教職員も自らの資質を向上させ喜びを感じられる学校づくりを今後も続けていきたい。	中期取組目標振り返り	

取組分野	令和 7 年度		総括
	取組目標	自己評価	
重点取組項目	「総合的な探究の時間」の取組の推進		
	基礎基本の定着と社会人基礎力の育成		
	社会活動への参加意識を高めるキャリアガイダンスの充実		
人材育成の取組目標			
中期学校経営方針における10の取組分野	教育目標等の設定・実施		
	組織運営(働き方改革)教職員研修		
	教育課程		
	教科指導		
	特別活動		
	生徒指導(特別支援)		
	キャリア教育		
	保健指導		
	学校経営		
	保護者・地域等との連携協力		
危機管理			
学校に関する情報公開			
いじめへの対応			
学校関係者評価書提言			
学校関係者評価書提言に対する考え			
中期目標振り返り			